

琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係

沖縄復帰記念式典(3) (アグニュー副大統領関係)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43581

アグニョ 副大統領訪日 日米協議

大臣秘書官 儀典長 参事官
 事務次官 儀典官 参事官
 外務審議官 情報文化局長 北米一課長
 官房長 報道課長
 官房総務参事官

極 秘
 無 期 限
 / 部の内
 / 号

アジア局長 (1) アグニュー 訪日の件 47.3.19
 南東アジア一課長 北米一課長

I 19日在京米文使館より本件につき次のとおり申し渡された。

- (1) 訪日後ソール及びサイゴンに立寄る件については、特にサイゴンにつき日本側がエンバラスされるといふ事情がわかるので、今回の発表ではこれらの訪向先には全くふれず、また、サイゴン立寄りについては「ア」副大統領の日本出発後、ソール滞在中に発表することを考えている。
- (2) しかし、ソールやサイゴンへの立寄りが事前に部外にもれると折角の苦心も殺されたのみでなく、訪日そのものを困難にするおそれがあるので、この点につき日本側の協力を

得た。

II 以上に対し当方より、この申し入れを了承することにより、サイゴン立寄り自体を再考してほしい旨をわが方より申し入れることの可能性を排除するものではない旨を確保しつつ、これに了承を乞うた。

III ついては、アグニュー 訪日につき、その際第三国に立寄るのではありませんかとの質問がプレス等よりあった場合には、日本政府としては、そのような計画は全く承知していない旨回答することとした。

日本側を以て

昭和十四年五月十九日
公使館に於て
閣議



昭和十四年五月十九日
閣議

アグニュー米副大統領の訪日に関する
官房長官談話 (案)

昭和四七、四、一八
アメリカ局北米第一課

今般、アグニュー米副大統領がわが国の招待をうけて、ニクソン大統領の名代として、五月十五日の沖縄復帰記念式典に参列するため訪日することとなつた。わが国にとつて、また日米兩國関係において、この記念すべき機会に同副大統領を迎えることは、日米友好関係を一層促進する上でまことに有意義、かつ、時宜にかなつたものである。政府としてこれを心より歓迎する次第であり、所要の接遇準備を進めてまいりたい。

なお、滞日期間は五月十二日から十六日までの五日間であるが、五月十五日の式典参列以外の詳細日程は未定である。

七〇

半別 宛文

4/19 百島米 (3-4/19 書記官 手交 送付)
19日 午後 11時 (ロビー 2階) 宛在 手交

In light of the great importance which the United States places on this significant event in our relationship with Japan, the President has asked Vice President Spiro Agnew to attend the Reversion Day Ceremonies in Tokyo on May 15 as his personal representative. Other members of the delegation are: Robert S. Ingersoll, U.S. Ambassador to Japan; Lt.Gen. James B. Lampert, High Commissioner of the Ryukyu Islands. Decisions concerning the details of the Vice President's schedule while in Japan have not yet been made. It is anticipated that the Vice President's trip will be of fairly brief duration, however, in view of the fact that Mr. Agnew must return to Washington in sufficient time for consultations with the President before the latter's scheduled departure for the Soviet Union.

大臣秘書官 儀典 長 儀典官
アメリカ局長 参事官
北米第一課

(4112)

沖縄復帰記念式典
(アグニユー 副大統領訪日)

47. 4. 13
米北1

4月17日 在京米大使館 参事官

日 橋 アメリカ局参事官に来訪、本件に
つ重要旨次々と通訳越した。(先方
極秘の含みあり)

ドークリグ書記官、当方米北1加藤同席)

1. 5月15日の沖縄復帰記念式典には
(か 大統領の名と)

アグニユー 副大統領、イリガヤル大佐、
レポート中核 official representation
とあり

7:00 参加する。(レポート中核が沖縄の
15日の式典に参加しない
ことを先方確認 外務省
した)

GA-5

16348 4405 1109

2. アグニユー 副大統領夫人の訪日日程

吾かいつ2日 本国の指示の indication
とあり。(ドークリグ書記官 短期の訪日
とあり) 同日の 2日 訪問
と想定された 附言)

(security 関係) (5. 等も含め)

- 5月13日 不明 2日あり、15~25 日位
とあるのは 訪問日程 12月 8日 までと
あり。

3. 日米両 次々と
5月12日 夕方(金) 東京着
(本国より直航と思われ)

5月15日 (月) 式典出席
5月16日 (火) ヴァルへの移動日
5月18日 (木) ヴァル発 7:00 着
短期滞在の 後 (直航)
ワシントン (金) につく。

4. 発見 5月 13日、米 国 東部 時 帯
4月17日 から18日 には 5月13日 予定 2日あり。

GA-6

外務省

具体的な時向確定は前12月

563号省に連絡する等と17=11.

5. 17 = ヴァル、サイゴン等の立寄りに711217)
400名以内 (日本側212名以内) (米側212名以内) (米側212名以内)
1700名以内、とコメナヒに1000名以内 (米側)
上記発表に711217向かひする等とし、
向地滞在は米側(米側)あり、又
発表後数日経つたか5追加的に発表

日本12月11日212名(米側)発表を517向かひする等とし

発表後数日経つたか5追加的に発表

6. (当方より副大統領の資格に711217

国籍待遇を大層に2113名、所望するに2113名
現に711217(米側)中2113名(米側)に滞在し2113名

8 (米側) 2113名) 副大統領は

国賓の資格を才711-14417 2113名
受つたものと思ふ。

7 (当方より、国賓と711217の場合 宿舎は

迎賓会館に限定されるかと17=11

(父は2113)

2113、2113と17限定2113 8 (米側) 2113)

副大統領はホテルに宿泊する等

好まらぬ2113名かと思ふ。

8. 副大統領を1711-517の誰かか

沖縄の式典に米側の予定ありと17

承知し2113名。米側は基本的に17

AP側の式典は purely Okinawan
event
2113名と2113名に立つた2113名

9. 4711=17 式典のため人を派遣する

予定は2113名。(同地駐在の新米総領事は米側に
沖縄に着く2113名予定の由)

9. 517 米側(米側)の担当者17

8 (米側) 2113名、1711-1711
1711-1711

書記官、2113名(米側)の assist
する等と1711。

本報

大蔵省に 係連し、^{米内}米内長

江原信典の報道に米内長

米内長一 副大臣の訪日 1件

昭和7. 4. 18

TX4カ多 橋

4月18日(水) 在京米大使館 午マニ多事
より 又記 電話連絡あり。
(橋)

1. アケニ一 副大臣の訪日は、華府方面
4月19日(水) 午前11時(註. 日本時間20日午前1時)

に発表すは首 華府より連絡されし。発表文は
近々に連絡致す。

(高野氏の返答に對し) 日本側において19日に右
発表時間迄の embargo 付きで 朝刊用 ~~に~~ ^{発表}

すはるは 是迄なし。(尚高野氏、回着待滞の
手続は 右時迄には 未済なる旨(おし)あり)

2. 12日 到着前向未済なり。夕方(evening) であり、
13日(土)に 陛下拜謁等を含む 活行事

GA 6

外務省

4187

14日(日)は 短り旅行 或はゴルフ (ハニツは不明)、
15日(月)は 式典参加の地、訪日 在京米大使の

リセツのニ一 感想 記す。

3. 訪日の際、高野氏、昨日も指摘されしありか?
米内の政治、準備上も、ソレ以て特に 何の 訪日は

好れから 右の 國情の強いの、これを取らぬ得
るや、 少くも 発表の 訪日は 是迄あり

附し。

これに對し、高野氏は、昨日の 会談でも 右感觸を
強く 受けたるに 上司に 報告 済なり、華府より 指

示は、はつりし と思ふ、即ち、沖繩直置式典
参加の旅行の 主目的 たる 是に 對し 強固に 是を 発表 する

取極し、ソレ、ソレ 訪日は、訪日発表後 數日後に
発表 する 是に 對し、米内政治 上も、兩地

GA 6

外務省

訪問をとりやめると、発表しないという事は
不可解な事として思われる。と述べては。

註。ソ連、サウジ訪問の取止めが不可解な場合は、
両地訪問の発表を極力遅らせ、連休直前の

4月28-29日頃とすようお考えをうかがいます。

儀典長 4

アメリカ局長

参事官

沢井儀典官

北米第一課長

取扱注意

アグニ-副大統領訪日

47.4.21

米北1

2. 2/日在京米大使館で書記官を招致
し、別添日程案について説明すると共に、当方
より特に確認してあること次のとおり。

(1) 4月28日の周知において、国賓予定の

周知決定を行って、24日までに一行

の人数(公式メンバー)、出張費用の概算を決定

した。日程 ^{については} ~~概算~~ 概算案を列記して

同日までにわたすこと。

2
(2) 宿舎については、警備上の観点からは
迎賓館が好都合である。特に5月15
日前後には米大使館に近づくデモがあ
るとの情報もあり、^{デモが}ホテルオークラに近づく
可能性もある。半側が^ういても
ホテルオークラの方が良いと云うのであれば
止むを得ない。(先入反応: 大使館に近
いと言うことで、ロジスティックの面で好都合
であり、シークレットサービスもホテルオ
ークラに慣れている。デモ情報はプロ
リジエトだが、ホテルオークラと言うことで

いざこいざ、大使館に近づく油断は、
準備が整えられれば有難い。

(3) 復帰記念式典の際の服装はモーニン
グとすべし。
(インガール大使、ラポート中将^も中央塩上
にあがらば、モーニングとする。)

(4) 5月12日の羽田着は、空港行車と関係
係があるので、是非午後5時までに到着
ねとすべし。

(5) 5月14日(日)の予定として、総務副大臣
の希望がある場合には、至急教えて
欲しい。

(6) イギリス大使の主催の行事については

5月15日夕刻又は夜と2日の適当と見せら
れるが、同日夕刻^{又は}夜の日本側の行事^ににつ
いては進んで連絡を。

(5月13日夜の総理主催晩餐会・ブランチ)

同日の宮中行事については確定^は ~~する~~
確認済。

2. 先立、照会おた卓次のとおり。

(1) 宮中での昼食の際、トーストを交わすの
を通知した。(河野儀典が宮中に確認中)

(2) 記念式典の服装につき、トッポ・ハットは

着用する。(持参の希望をいって回答をせよ)

(3) 空港到着・出発の際にはステート

ト・サービスと必要とす。(通常行方あり。行

(4) 副大統領が短スピーチ・トースト

等を行うのは、総理主催のディナー・記念

式典、日米協会主催ランチョンの3回

と承ておいた。(11日と同様に回答した。)

(5) 総理の会談は、宮中行事との

関係で、午前10時が好都合であら

う。(名称不足を回答した。)

(6) 29日又は30日に警備関係の

場合、
手利
配布
する
る
回答
した。

6.

先発隊が到着する迄、日中側

警備隊と打合せを用いて欲

い。(多分了解。)

米國

	午前	晝	午後	晩	夜
5/12 (金)			到着	free	
5/13 (土)	總理の會談	御會見 宮中手紙	== == ==		總理の會談 (7:11:00) (決定)
5/14 (日)	弗根行 (17:15)		17:15	free	
5/15 (月)	津浦運送會 日米協定會		記者會見	米自1907:27 外相御見	
5/16 (火)	出境				

13 中 中 中

アメリカ合衆国副大統領日程一覧表

月日	時間	午前	昼	午後	夕	夜
第一日	5/12 (金)			○東京国際 空港着 (特別機) 18:00 空港行事	自由	ホテルオ ークラ泊
第二日	5/13 (土)	○総理との 会談 (於総理 官邸) 10:00 ~11:00	○天皇陛下 謁見 12:15 ~12:30 ○宮中午餐 12:30 ~14:30	○外務大臣 表敬 (於ホテル オークラ) 15:15 ~15:45	○副大統領 主催レセ プション (於米大 使公邸) 18:00 ~19:15 ○総理主催 晩餐 (於総理 官邸) 19:30 ~21:30	ホテルオ ークラ泊
第三日	5/14 (日)	○東京発 9:30 ○箱根湯本 着 10:50	○昼食 (於奈良 屋旅館) 12:30 ~15:00	○箱根発 ○東京着 (ヘリコ プター)		ホテルオ ークラ泊

第四日	5/15 (月)	○沖縄復帰 記念式典 (於日本 武道館) 10:30 ~11:05	○非公式午 餐	○総理主催 沖縄復帰 記念レセ プション (於:総 理官邸) 18:00 ~19:30	○副大統領 主催晩餐 (於米大 使公邸) 20:00 ~22:00	ホテルオ ークラ泊
第五日	5/16 (火)	○東京国際 空港発 (特別機) 10:30 空港行事				